

J-クレジット制度認証委員会 御中

## 実績確認概要書

平成 26 年 8 月 26 日

審査機関名 株式会社日本スマートエネルギー認証機構

### 1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	A 重油ボイラから木質バイオマスボイラへの更新プロジェクト
承認番号	JCDM-PJ-KC1013
排出削減事業者名	川端製紙株式会社
排出削減共同実施事業者名	株式会社 FT カーボン
事業実施場所	本社工場 (福井県福井市天池 38)
事業の概要	A 重油ボイラ 6 基の機能の一部を木質バイオマスボイラ 1 基へ更新する。カーボンニュートラルである木質バイオマスを使用することによって、CO <sub>2</sub> 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2011 年度 : 578tCO <sub>2</sub> /年 2012 年度 : 1,815tCO <sub>2</sub> /年 (事業実施期間合計 2,393 tCO <sub>2</sub> )
Jクレジット・国内クレジット認証期間	開始日 2011 年 6 月 13 日 終了予定日 2019 年 6 月 12 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

### 2. 本実績確認の対象期間

2013 年 4 月 1 日 ~ 2016 年 3 月 31 日 (第 2 回目実績報告)

### 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	13,627tCO <sub>2</sub> (2013年4月1日～2016年3月31日)
-------	---

### 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。 1) 承認排出削減事業計画に従い、既存重油ボイラからバイオマスボイラへ更新する事業が実施されていることを現地審査における視察により確認した。 2) 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間におけるバイオマスボイラ給水量及び現地審査により確認した。 3) 事業開始日が前回の実績確認モニタリング対象期間と重複していないことを突合及びバイオマスボイラ給水量により確認した。 4) その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法については、承認事業計画に従って、バイオマスボイラ給水量を基に集計・算定されていることを確認した。 2) バイオマスボイラ給水量の使用量については、責任者により管理・保存が適切になされており、使用量が正確に集計されていることを確認した。 3) 排出削減量の算定式及び使用されている排出係数等が方法論及び承認排出削減事業計画に従っており、算定結果が正確であることを確認した。

	<p>4) 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果をモニタリング結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認している。</p> <p>5) その他、排出削減量の算定において重大な変更はなされていないことを確認した。</p>
算定期間が 2021 年 3 月 31 日を超えないこと	算定期間は 2013 年 4 月 1 日 ~ 2016 年 3 月 31 日までであり、2021 年 3 月 31 日を超えない。

## 5. 特記事項

確認した排出削減量（クレジット量）に相当する省エネ量について、原油換算で 6,093.9k 1 であることを確認した。

以上